

静岡市立中央図書館開館40周年

記念展示・特別講演会

それぞれの時代の中で、女性たちはどのように教養を深め、美を磨いてきたのでしょうか。

静岡市在住のきもの文化研究家・萩原敏司氏の貴重なコレクションから、江戸時代の礼儀作法や和歌、季節に応じた衣裳の知識が記された『女鏡秘伝書』（1652年）をはじめ、色鮮やかな錦絵、明治期の教育用『女学校すごろく』（1909年）など、女性の教養をテーマに多彩な資料を展示します。

さらに特別講演会では、展示資料の背景や当時の女性たちの生活・文化を、萩原氏が深く掘り下げて解説します。

この機会に、時代を彩った乙女たちの映し出す歴史の魅力に触れてみませんか。

日程

展示

令和7年 3月11日（火）～5月11日（日）

静岡市立中央図書館 玄関ホール

講演会

と き：3月15日（土）午後1時30分～3時

ところ：静岡市立中央図書館 2階 ホール

【申込フォーム】

講 師：萩原 敏司 氏

対 象：60人（無料・申込順）

申込み：2月13日（木）9時30分から

★申込フォームか電話または直接 中央図書館 ☎054-247-6711



※駐車場には時間制限がありますので、当日は公共交通機関で
ご来館ください。

【講師・展示協力】

萩原敏司（きもの文化研究家）

1932年生まれ。元・（株）紺文シルク会長。
2011年、きもの鑑定士として「開運！なんでも鑑定団」（テレビ東京）に出演。
京都・日本きもの学会や国立奈良女子大学、
静岡大学、日本大学などでの講師経験多数。



問合せ 静岡市立中央図書館（静岡市葵区大岩本町29-1）TEL（054）247-6711

左図：錦絵「現時風俗 少女の禮式」/ 錦絵「女禮式の内 東錦茂ふよの振袖」/ 「少女世界新年附録 女学校すごろく」

時代を彩る乙女の美学

お姫さまも学んだ江戸から昭和の教養書と錦絵・双六の世界

